

スローガン

「邁進」 ～地域と共に、笑顔で次の 50 年へ～

はじめに

現在、日本は人口減少社会にあり、特に地方において人口減少の速度は加速しています。多くの子供たちは進学や就職を機に地元を離れ、利便性の高い都市部にて生活の基盤を築いていきます。

日本には、地域ごとに独自の文化・慣習があり、それらは地域の宝として大切に受け継がれてきました。今後、都市部への人口集中という環境下においても、これらを着実に次代へ引き継ぎ、地域を愛する心を守っていくことが地方に身を置く者の重要な使命であり、そこで青年会議所の果たす役割は非常に大きなものになります。

50 周年

1968 年(昭和 43 年)4月 21 日、日本国内で 378 番目の青年会議所として、御坊青年会議所が創立されました。そこから半世紀、先輩方は、地域と共に、青少年育成、地域活性化に取り組み、その歴史を刻んでこられました。半世紀という期間は非常に長く、青年会議所を取り巻く環境も絶えず変化し続けていたと思いますが、その中でここまで歩みを続けて来られたのは、変わらない信念と、時代に適合した活動が地域に受け入れられ、評価されてきた結果であると考えます。

大きな節目にあたり、私達は、積み重ねられた 50 年を振り返り、その重みと信念を理解し、私達なりの努力をもって次の世代へ、その精神を引き継いでいく義務があります。

会員拡大

組織は、個人の集合体として成り立ちます。基本理念、活動方針が同じであっても、組織を構成する個人が異なれば、その活動内容や活動の方向性は著しく異なるものになります。今後、私達の活動をより意義のあるものにしていくためには、魅力的な人材にどんどん加わっていただき、総会、理事会、委員会、各種事業等で存在感を発揮していただくことが必要不可欠であり、それがひいてはメンバー全体の資質向上に繋がります。

私達の活動が地域で認知され、大きく評価されることになれば、会員拡大に務めなくても自然に会員拡大が達成されると思います。しかしながら、価値観が多様化し、多くの団体が存在する現代において、それは容易なことではありません。会員拡大は、新入会員にとっても大きな成長の機会を得ることができ、また、既存メンバーにとっても新しい知見を得る絶好の機会になるとの認識のもと、積極的に、更なる会員拡大に取り組んでいきます。

青少年育成

時代の進展と共に子供達を取り巻く環境は大きく変化しています。

インターネット上には情報が溢れ、自分の趣向にあったコンテンツを活用することにより、他人とのリアルなコミュニケーションを伴わなくとも過ごせる時間が増加しています。IT 技術の目覚ましい発展により、私達の生活が豊かになったことは疑う余地がありませんが、同時に「人と人との関わり合いの中で得られる経験」や「地域の特性・人間性に触れる機会」が失われつつあると感じています。

豊かな人格を備えるにあたりこれらの経験・機会は極めて重要なものであり、私達は、青年会議所の立場から、人間形成に資する機会を提供・提案していく責務があると考えます。

私たちの街へ

私は、2011 年秋、11 年ぶりに地元である御坊市に U ターンしました。

その際、頭をよぎったのは、幼い頃に見た御坊祭、花火大会、七夕祭り等の御坊らしい賑わいでした。人が地元に着着を持つきっかけは些細なものだと思います。幼い頃の体験、学生時代に共に部活動等に取り組んだ仲間との関係、それらも含んだ地域全体の雰囲気等、それがあつかないかで、地域を愛する深度は大きく変化します。

私達は、地域の魅力を発見できる機会、それに触れ合う機会を提供することで、少しでも多くの方の地域を深く愛する心を育み、御坊・日高地域の活性化に資するべく、活動を展開していきます。

理事会の活性化

青年会議所の意思決定については、総会を最高意思決定機関とし、具体的な業務執行については理事会にて決議されます。

換言すると、私達の活動内容が基本理念と合致しているか、地域・時代に求められているものなのか、といった点は、理事会で活発な議論が行われることにより担保されており、私達の活動の質を上げるためには引き締まった理事会運営が必須となります。

議案上程者の的を射た議案説明、その他の理事による積極的な意見・質問、それに対する担当委員長の明快な答弁、理事会においてこれらを実現するには、他の理事の理解度と意図を察する能力、費用対効果や意義を大局的に判断する能力、他を論破する論理的説明力、そして、理事会メンバーを納得させるだけの強い熱意が必要となります。慣れ合うことなく、このような活発な理事会を開催していくことは、結果的に、メンバーが青年会議所外でも活躍する潜在力を高めていくことになると確信しています。

結びに

2018 年度のスローガンとして、『「邁進」～地域と共に、笑顔で次の 50 年へ～』を掲げます。「邁進」という言葉には、「恐れることなく、突き進む」という意味があります。

50 周年という大きな節目を迎えるにあたり、過去を回帰することに意識が向くことが多くなりますが、同時に、この 1 年もまた、メンバー全員にとってかけがえのない 1 年であり、この 1 年でしか経験できないことが必ずあります。様々な機会・経験を全て前向きにとらえると共に、自身の成長の糧とすべく新しいことにも積極的に取り組んでいきたい、という思いを込めました。

JAYCEE として活動できる時間は無限ではありません。今ここでしか会えない人、経験できないことを大切に、経済人たるメンバー個々の成功の礎となるべく、互いに切磋琢磨し、あらゆる物事に全力で取り組み、邁進して行きましょう。

基本方針

1. 創立 50 周年記念式典・懇親会・記念事業の実施
2. 会員拡大と自己研鑽
3. 青少年育成事業の実施
4. 真剣で活発な会議体の運営
5. 例会、事業、各種大会への積極的な参加と協力